

目 次

はじめに

研究の趣旨と方法	1
----------------	---

第 I 部

肢体不自由養護学校での「日常的な」授業研究の取り組み	當島 茂登・本田 厚夫	7
保護者参加の授業研究の試み	滝坂 信一	13
指導を高める仕組みの構築と保護者の要請に応える教育相談	舟川 和宏	25

第 II 部

管理職から見た障害児教育 ―藤沢市中学校における特別指導学級の現状―	秋田 晃	31
養護学校の地域における機能		
―地域における養護学校と障害児学級との関係―	中野佳代子	37
障害児教育に関わる教師の成長を支えるもの	富岡 英道	41

第 III 部

養護学校における教育相談の試みと生活支援	滝坂 信一	47
遠隔地における障害のある子をもつ保護者のニーズ調査	當島 茂登	51
奄美大島における障害のある子の暮らしと教育の課題	向井 扶美・當島 茂登	61

第 IV 部

学校との連携について	渡辺 幹夫	71
地域で障害のある子どもと家族の暮らしを支えるということ		
―学齢期の支援―	瀧澤久美子	75
障害児教育と障害児(者)福祉施設との連携システムについて		
～「障害児(者)地域療育等支援事業」と姫路市における実践～	宮田 広善	79

第 V 部

肢体不自由養護学校高等部の作業学習に関する全国実態調査	伊藤 尚志	85
-----------------------------	-------------	----

第 VI 部

総括討論：授業研究と地域の要請に応える養護学校	95
-------------------------------	----